

「フランスの鬼才・アルカン」

生誕200周年記念祭

～真面目すぎ、正直すぎて忘れられた男～

アルカンとは？

今年生誕200周年を迎えるシャルル＝ヴァランタン・アルカンは、パリに生まれたユダヤ人。幼くして神童と称され、青年期、パリの社交界ではリストやタールベルクらと同列のピアノの名手と見なされました。またショパンともしばしば共演し、彼の死により未完に終わったピアノ教則本はアルカンに託され、多くの弟子を引き取りましたが、1850年代以降になると作品は出版しつつも人目を避けるように暮らし、1888年にパリで没しました。(裏面に続く)



2013 **11.2 (土)** 18時開演 (17時30分開場)
全席指定 4,000円 (税込) 学生券 2,000円 (税込)

横浜みなとみらいホール (小ホール)



アルカンの傑作「作品39」約束された 稀有な体験
ヴィンチェンツォ・マルテンポ
ピアノ・リサイタル

アルカン すべての短調による12のエチュード 作品39 (全曲)
Alkan (1813-1888) 12 Études dans tous les tons mineurs Op.39

全曲演奏に2時間以上を要する大作です。そのため開演時間が早めになっておりますのでご注意ください。

協賛：アリタリアーイタリア航空



2013 **11.6 (水)** 19時開演 (18時30分開場)
全席自由 3,800円 (税込) 学生券 2,000円 (税込)

すみだトリフォニーホール (小ホール)

アルカンの 稀有な真面目さ 美しさ 今よみがえれ パリの天才

森下 唯 ピアノ・リサイタル

アルカン ドイツ風メヌエット 作品46
Alkan (1813-1888) Minuetto alla tedesca Op.46

悲愴な様式による3つの曲 作品15 1. 我を愛せよ 2. 風 3. 死んだ女
Trois morceaux dans le genre pathétique Op.15 1. Aime-moi 2. Le vent 3. Morte

すべての長調による12のエチュード 作品35より第3、7、8番
NOS.3, 7, 8 de 12 Études dans tous les tons majeurs Op.35

歌曲集 第5集 作品70
5^e Recueil de Chants Op.70

スケルツォ・フォコーソ 作品34
Scherzo fucoso Op.34



Photo: 松浦文生

チケット好評発売中

カンフェティ

<http://www.confetti-web.com/>
<http://cnfti.com> (携帯用)

☎ 0120-240-540
(平日 10 ~ 18時)

・学生券をお求めの方は当日学生証をご提示ください。



イープラス

<http://eplus.jp/>

JK arts (ジェイケイ アーツ)

主催 / チケット販売
<http://www.jk-arts.net/>



後援：

在日フランス大使館 /
アンステイテュ・フランセ日本

公益財団法人 日仏会館



在日イタリア大使館 / イタリア文化会館
(11/2のみ) (11/2のみ)



(表より) アルカンの作品は時として巨大で交響的色彩を帯び、一方で一分に満たない小品も多く、その多彩さは類を見ません。また彼の発想は型にはまらず、実験的・野心的な試みが多く見られるのも魅力です。私が思うに、彼は真面目で正直で、かつ音楽に自分の感情をあまりにストレートに反映させたため、いわば「真面目すぎ、正直すぎ、ストレートすぎ」た作品ゆえに、時として風変わりになったり極端に難しくなったりして、結果的に忘れられてしまったかのようになります。魅力的な作品が多いだけに、今のような「知る人ぞ知る」状況を残念に思います。

そこで“JK arts”は、この記念すべき年に二つの演奏会を企画しました。これを機に、より広く正しくアルカンのことが知られることを願っています。詳しくは JK arts ウェブサイト (www.jk-arts.net/concert) をご覧ください。

ヴィンチェンツォ・マルテンポ ピアノ・リサイタル

マルテンポが演奏する「作品39」は同じ12曲からなるリストの「超絶技巧練習曲集」の2倍以上の演奏時間を要する大作で、全曲が一夜で演奏されるのは首都圏では約30年ぶりとなります。さらにこの中には「ピアノ独奏のための交響曲」「ピアノ独奏のための協奏曲」というオーケストラ的スケールと色彩を強く求めている野心作や、主題の親しみやすさとその後の展開において、古今の変奏曲の中でも一際優れた「イソップの饗宴」が含まれています。「カッコイイピアノ曲と出会いたい方」「音楽を聴いて元気を得たい方」には「稀有な体験」になることは間違いなく、なぜこの作品が知られざるままなのか不思議に思われることでしょう。

Vincenzo Maltempo (ヴィンチェンツォ・マルテンポ)

1985年生まれ。サルヴァトーレ・オルランドに師事し、2005年ローマ・サンタチェチーリア音楽院を最高位の成績で卒業。その後リカルド・リサリティに師事し、2009年にイモラ・ピアノアカデミーを卒業。アシケナージ、コチシュ、ソリアーノ、レヴィンなどのマスタークラスに参加。2006年、ヴェニス・フェニーチェ座で開催された、「プレミオ・ヴェネツィア ピアノコンクール」で優勝。2005、07、09年には「マイアミ・ピアノ・フェスティバル」で演奏。CDはGramola社から「Liszt Piano Works」を、Piano Classics社から「Alkan Album」をリリース。さらに4枚録音される予定になっている。今回が初来日。

森下 唯 ピアノ・リサイタル

森下のリサイタルは、歌曲集第5集のような叙情的な美しさに満ちた作品、徹底した半音階の連続によって描かれる「風」(作品15-2)のような独創的なアイデアが発揮された作品など、アルカンの多彩な作風を俯瞰する上で最高のプログラムです。森下はこう述べています「私が実際にその音楽を演奏してきた上で、アルカンを上記のほかの4人(筆者注:ショパン、シューマン、リスト、ブラームス)と並べることに、なにひとつ違和感を抱きません。むしろ個人的にはまったく同時代のショパン、シューマン、リストの誰よりも優れていると感じるほどです。アルカンに対してこれだけ深い共感を寄せるピアニストを私は知りません。「ロマン派の音楽は好きだけど、何か新しい刺激を」とおっしゃる方には、是非とも聴いていただきたいリサイタルです。

森下 唯

筑波大学附属駒場中・高等学校を経て東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。2004年第2回東京音楽コンクールピアノ部門第2位。2006年、大学院修了の際には、優秀者によるベーゼンドルファー・ジョイントリサイタルに選ばれた。各地でのリサイタルやオーケストラとの共演をはじめ、室内楽、歌曲等の演奏会に出演。また作曲・編曲や文筆などの分野でも幅広く活動している。修士論文テーマでもあったアルカンの作品の紹介には特に力を入れており、2008～10年には、PTNAのウェブサイトにて、アルカンの作品集『エスキス 作品63』を全曲紹介する企画を連載。株式会社プリズムより発売された同曲集の楽譜の校訂・解説も務めた。これまでにピアノを竹尾聡子、辛島輝治、東誠三の各氏に、リート伴奏をコンラート・リヒター氏に師事。

百読は一聴に如かず。アルカンの魅力を
引き出す演奏をウェブサイトでご試聴ください。

QRコードで試聴できない場合は、JK arts ウェブサイトにアクセスしてください。

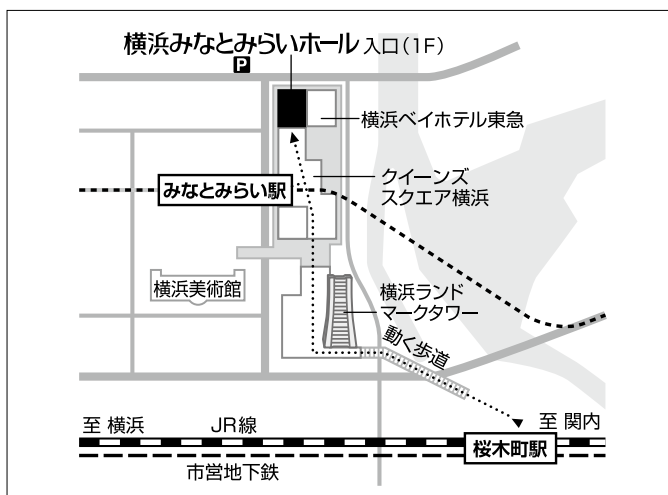
Vincenzo
Maltempo



森下 唯

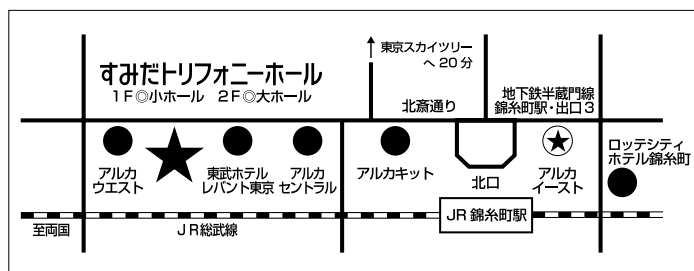


横浜みなとみらいホール (小ホール) : 11/2



- みなとみらい駅 (東急東横線直通/みなとみらい線) 下車、
「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
- 桜木町駅 (JR 京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄) 下車、
動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥(徒歩12分)

すみだトリフォニーホール (小ホール) : 11/6



- JR 総武線「錦糸町駅」北口/東京メトロ(地下鉄)半蔵門線「錦糸町駅」
出口3より徒歩約5分

もう一つの「アルカン生誕200周年記念コンサート」

ピアノ・コンサート 性格的小品の真髄(仮): 2013年11月28日(木)
東京文化会館小ホール 昼・夜の2公演

バースデイ・コンサート 室内楽とピアノ曲(仮): 2013年11月30日(土)
杉並区勤労福祉会館(西荻窪) 夕方予定

主催・お問い合わせ: 知られざる作品を広める会 谷戸(やと)
Tel 03-3331-4010 チケット発売・チラシ配布開始: 7月予定